

レークパークシグマ

取付け説明書

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〔設置条件〕

- ・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
- ・レークパークシグマ（一般地域用600タイプ）は積雪（新雪）20cm以下の地域用です。
- ・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けしないでください。強風にあおられるおそれがあります。
- ・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- ・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
- ・風当たりの強い場所に設置する場合は、風にあおられないよう前枠を建物側に向けて設置してください。
（丘陵地・田畑・野原・海岸沿い、または風を妨げる物のない平地に隣接した場所など）



〔部材の固定〕

- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。



〔基礎〕

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
- ・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。

- ・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕

- ・取付けは、専門業者の方が行ってください。
- ・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- ・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。
- 水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔シーリング処理〕

- ・指定の個所にコーキング材を充て込んでください。
- 製品腐食のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔絶縁処理〕

- ・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

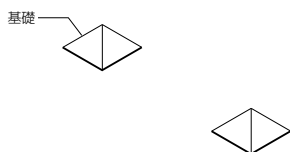
■施工上のお願

●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

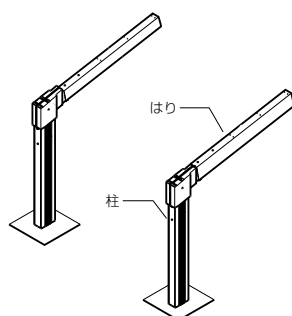
●屋根の上にもものをのせないでください。

■取付け順序

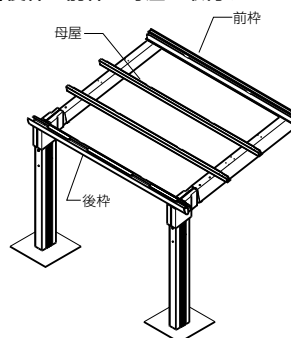
1 基礎の施工



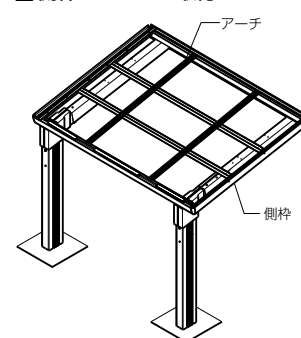
2 柱とはりの取付け



3 後枠・前枠・母屋の取付け

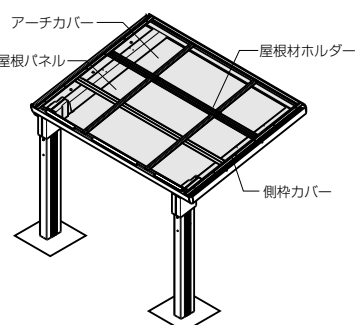


4 側枠・アーチの取付け

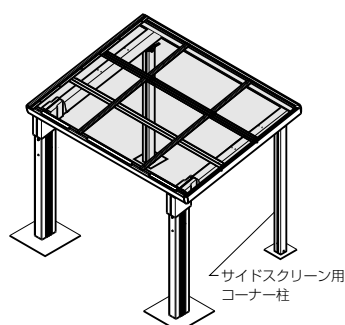


5 屋根パネルの取付け

6 アーチカバー・側枠カバーの取付け

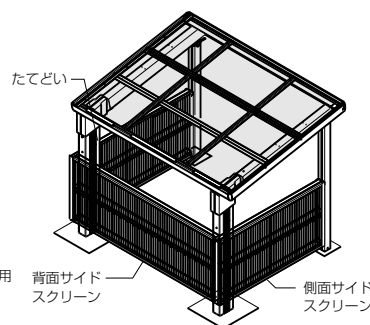


7 サイドスクリーン用コーナー柱の取付け



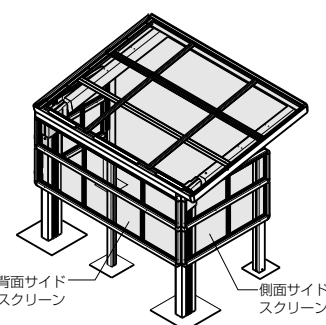
8 サイドスクリーンの取付け（波板の場合）

10 たてどいセットの取付け

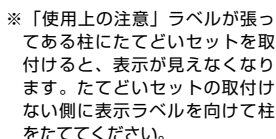


9 サイドスクリーンの取付け（パネルの場合）

10 たてどいセットの取付け



※内はロットNo.表示位置を示します。



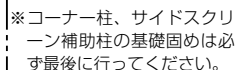
1 基礎の施工

- 柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

※柱の移動は内側に95mm以内です。

- ※柱を移動した場合、既存の水抜き穴は別途オプションの雨どいアタッチメントでふさぎ、穴を適当な位置へあけなおしてください。

※柱を移動した場合のA寸法はA+移動距離となります。



①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。

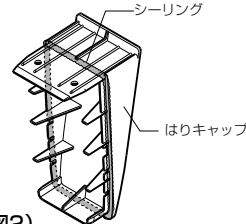
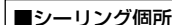
- ②はりをブラケットに取付けます。(図1)
- ③ブラケットカバーを取付けます。
- ④はりキャップにコーキング材を充てんし(図2)、はりに取付けます。

- ※はりキャップは必ず前枠より先に取付けてください。
後からでは取付けられません。

- ※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。

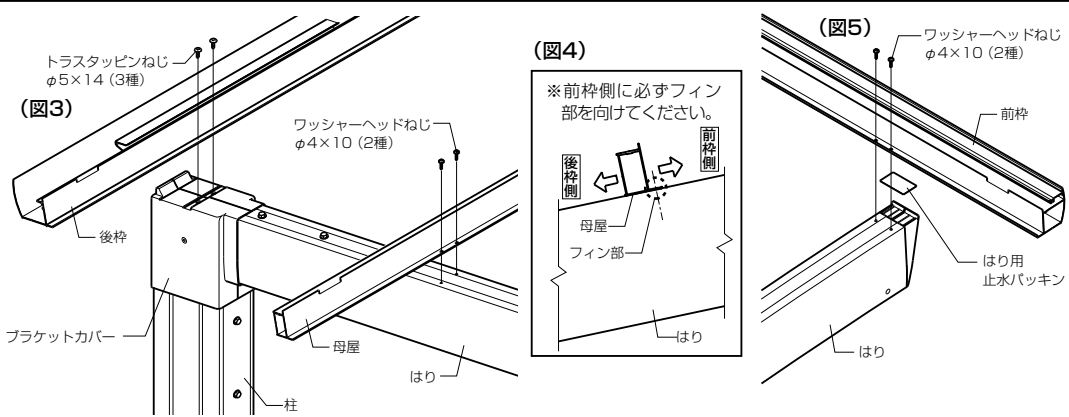
- ※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱にたてどいセットを取付けると、表示が見えなくなります。たてどいセットの取付けない側に表示ラベルを向けてください。

- ※ブラケットを柱に固定する際、上棧固定金物を共締めしてください。



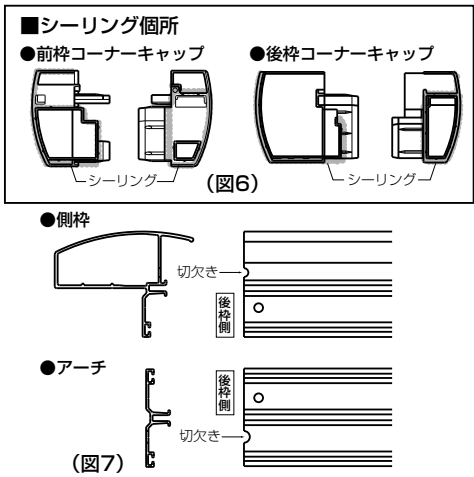
3 前枠・母屋・後枠の取付け

- ①後枠をブラケットに取付けます。(図3)
 - ②前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取付けます。(図4)
 - ③はりの先端に止水パッキンを取付け、前枠をはりに取付けます。(図5)
- ※柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋をはりに合わせて、後枠はφ5.5、前枠・母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
- ※既存の加工穴には、穴ふさぎシールを張ってください。



4 側枠・アーチの取付け

- ①前・後枠コーナーキャップにコーキング材を充てんし(図6)、側枠に取付けます。
- ※側枠には左右があります。切り欠きが入っている方を後枠側にしてください。(図7)
- ②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。
 - ③アーチの前後を確認し(図7)、取付けます。
 - ④屋根材まわりの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。
- ※前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベピスねじφ4×13で止めてください。

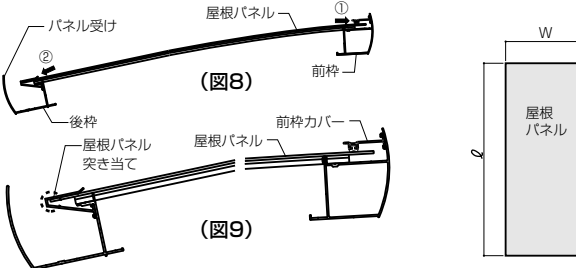


5 屋根パネルの取付け

- ①屋根パネルを前枠カバーに差込み、パネル受けに差込んでください。(図8)
- ※屋根パネルは後枠側に突き立ててください。(図9)
- ※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

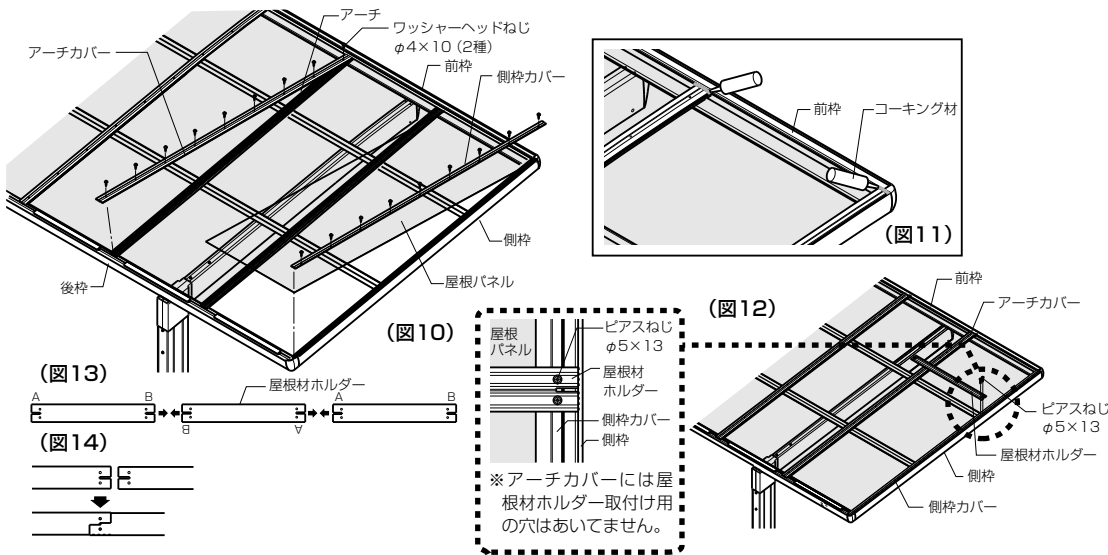
■屋根パネル寸法表 単位mm

サイズ呼称	ℓ	W
18	1774	689
21	2081	



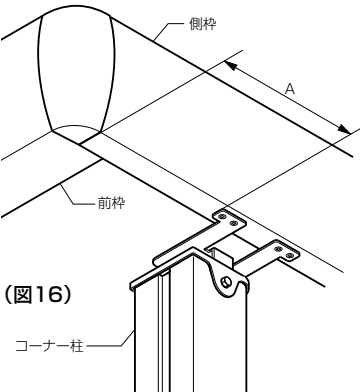
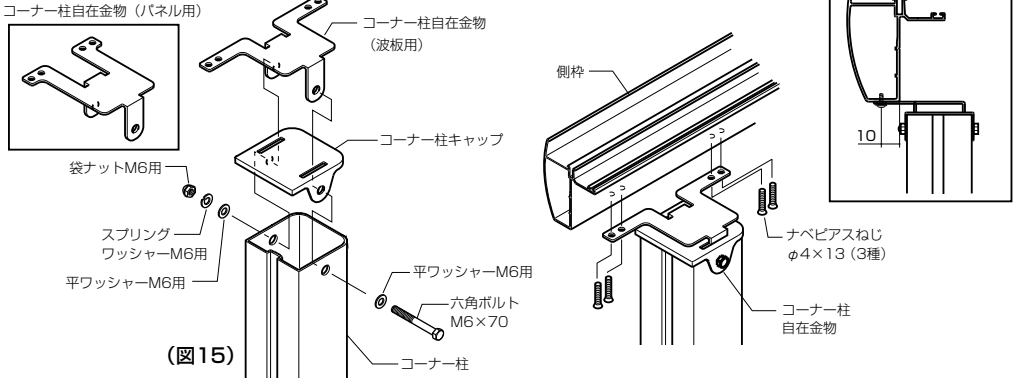
6 アーチカバーの取付け

- ①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突き当てます。
 - ②前枠側から屋根パネルにねじ止めします。(図10)
 - ※アーチとかみ合っていることを確認してください。
 - ③前枠との間にコーキング材を充てんします。(図11)
 - ④屋根材ホルダーを母屋の真上の位置にねじ止めします。(図12)
- ※アーチカバー、側枠カバー側のねじのみ固定し、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定します。
- ※2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部分をかみ合わせるように取付けます。(図13)(図14)
- ※間口18サイズには屋根材ホルダーが付きません。



7 コーナー柱の取付け

- ①コーナー柱にコーナー柱キャップ、コーナー柱自在金物を取付けます。(図15)
 - ②コーナー柱にアンカー棒を取付け、コーナー柱を建込みます。
 - ③パネルタイプのみ、コーナー柱の垂直を出し、上端を側枠に取付けます。(図16)
- ※波板タイプは側面サイドスクリーンを組付け後、位置出しをしてください。
- ※コーナー柱自在金物を側枠に止めるねじは、必ずナベピスねじφ4×13 (3種) (ねじ目の細かいピスねじ) を使用してください。

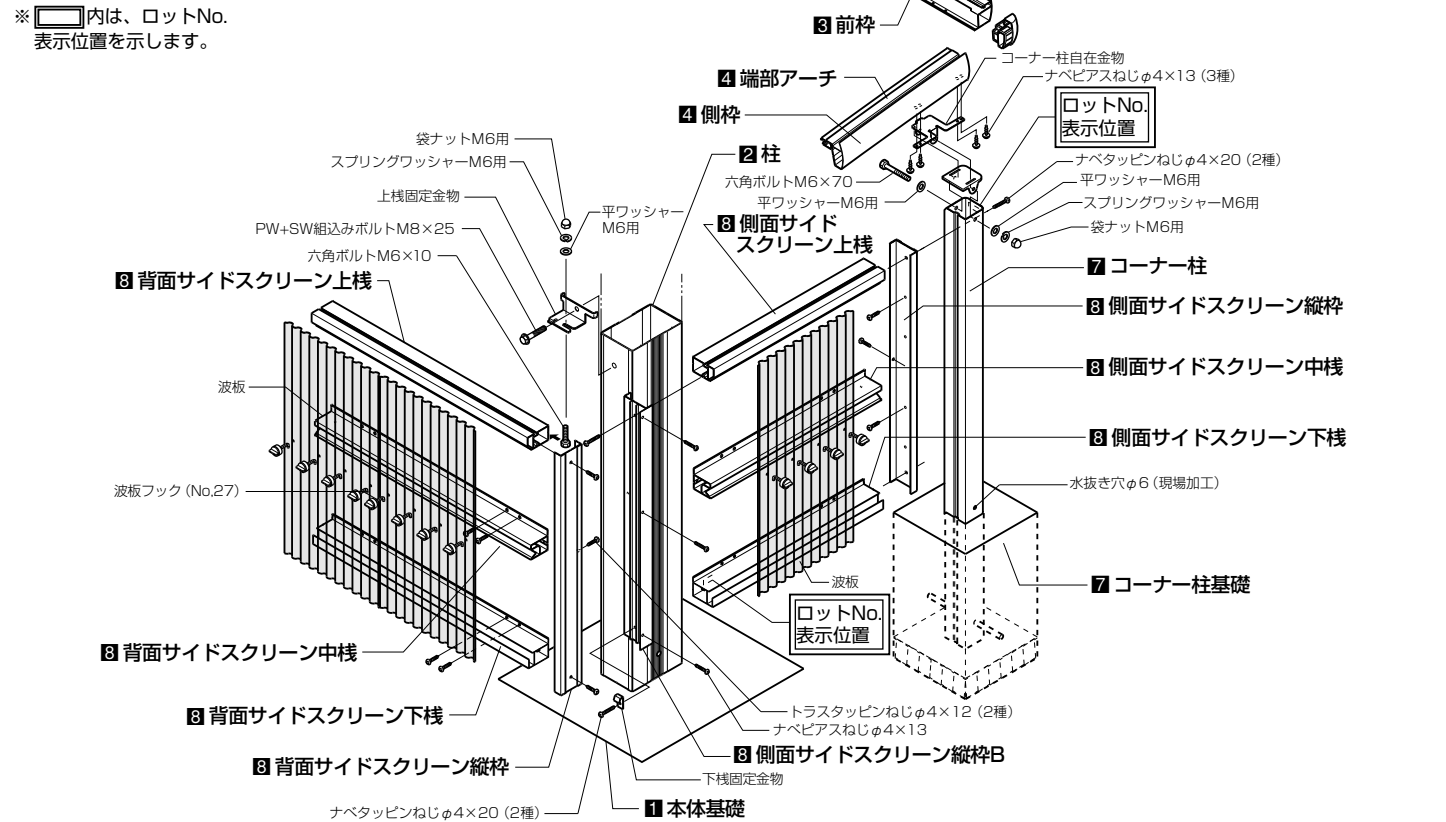


■A寸法表 (パネルタイプのみ)

単位mm

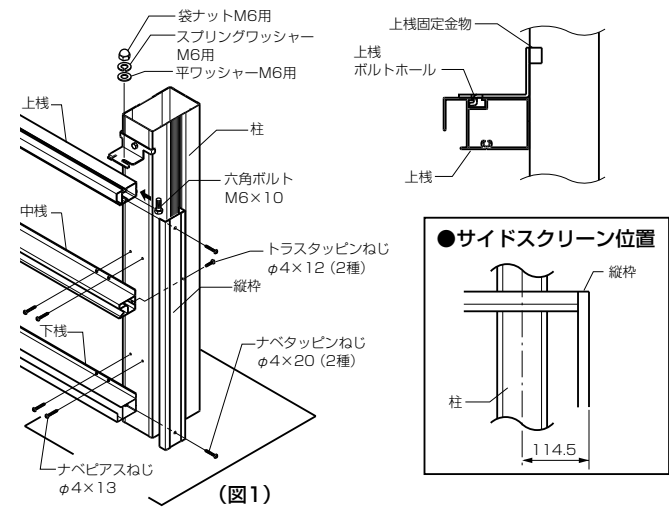
サイズ呼称	A
18	424
21	727

波板サイドスクリーン部構造説明図



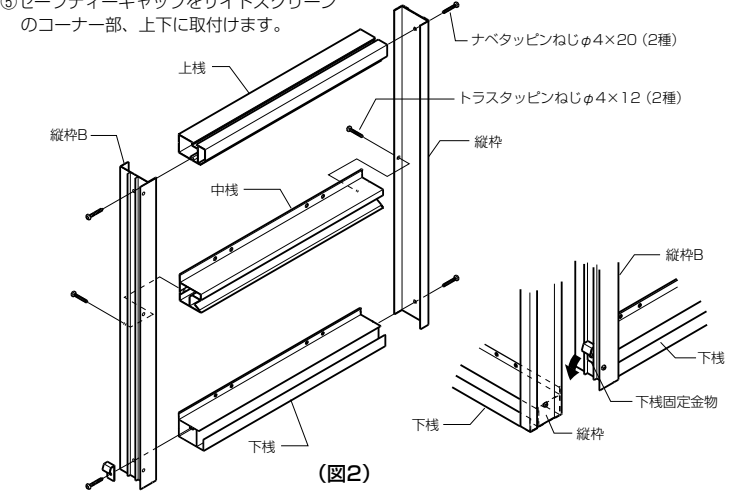
■背面サイドスクリーン部材の取付け

- ①はじめにサイドスクリーンの部材を組立てます。(図1)
- ②組んだサイドスクリーン部材の上棧ボルトホールを、上棧固定金物に引っ掛けます。
- ③サイドスクリーンの左右位置を合わせ、中棧と下棧を柱に固定します。
- ※柱移動した場合は、中棧・下棧の使用しない穴に穴ふさぎシールを張ってください。
- ※上棧固定金物の位置はブラケット固定ボルトの上側でも取付けできます。



■側面サイドスクリーン部材の取付け

- ①はじめにサイドスクリーンの部材を組立てます。(図2)
- ②組んだサイドスクリーンを背面サイドスクリーンの下棧に引っ掛け、下にかいものをして背面サイドスクリーンに固定します。(図3)
- ③コーナー柱の位置を出し、側枠に固定します。
- ※7 コーナー柱の取付けを参照してください。
- ④側面サイドスクリーンの水平を出してコーナー柱に固定します。
- ⑤セーフティキャップをサイドスクリーンのコーナー部、上下に取付けます。



■波板の取付け

●それぞれのサイドスクリーンに波板をセットし、波板フックで取付けます。

※母屋に沿って波板の重なり部及び、中央の4ヶ所に穴をあけて、波板フックで止めてください。

呼称	枚数
側面	3
22	4
29	5

波板

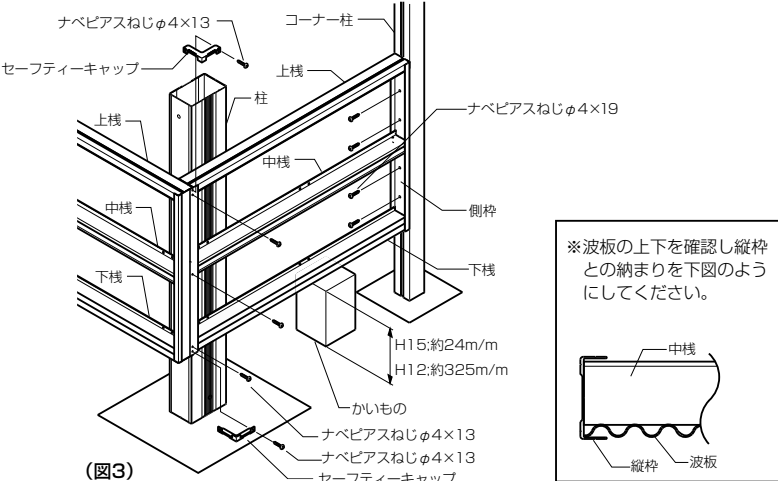
上棧

中棧

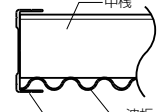
波板フック

重なり部

重なり代: 1.5山

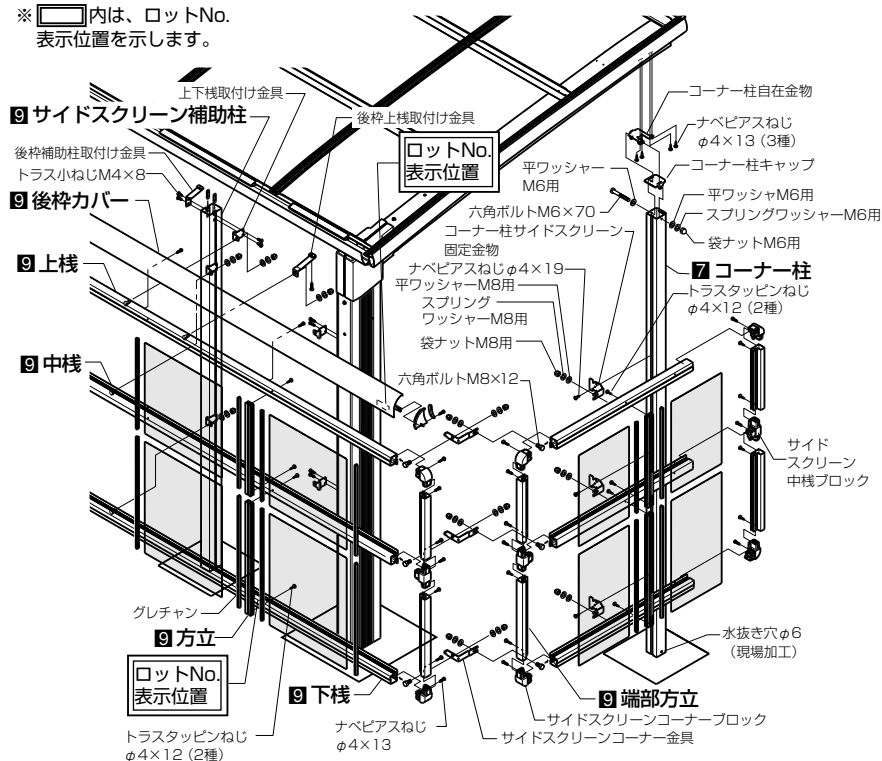


※波板の上下を確認し縦枠との納まりを下図のようにしてください。



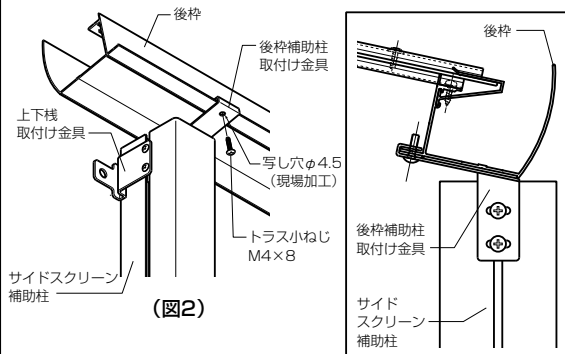
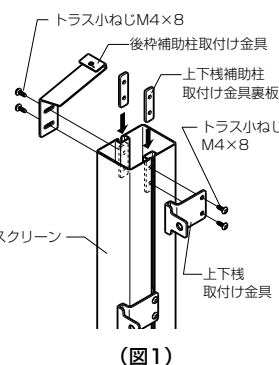
パネルサイドスクリーン部構造説明図

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。



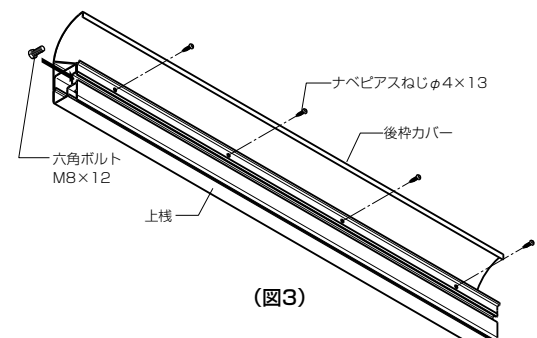
■サイドスクリーン補助柱の組立て

- ①サイドスクリーン補助柱に、上下棧取付け金具を、上下棧・中棧の本数分仮止めし、後枠補助柱取付け金具を仮止めします。（図1）
- ②後枠補助柱取付け金具の穴をガイドに、後枠にφ4.5の写し穴をあけ、ねじ止めします。（図2）

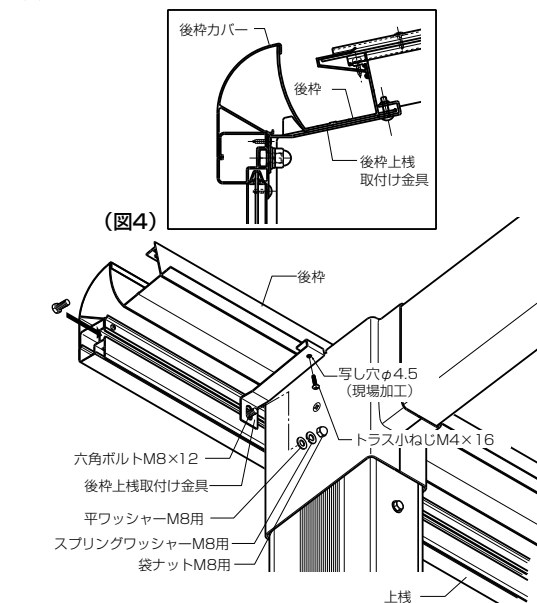


■後枠カバー・上棧の組立て

- ①上棧に後枠カバーを組み、ねじで固定します。（図3）
- ②上棧のボルトホールに、柱・補助柱の本数だけ、ボルトを差込みます。
※側面にサイドスクリーンを付ける場合は、ボルトを一本ずつ追加で挿入してください。
- ③後枠に、後枠カバーを引っ掛け、後枠上棧取付け金具を固定します。
※後枠上棧取付け金具は、なるべく柱の近くに取付けてください。
- ④後枠上棧取付け金具の穴をガイドに、後枠にφ4.5写し穴をあけてねじ止めします。（図4）

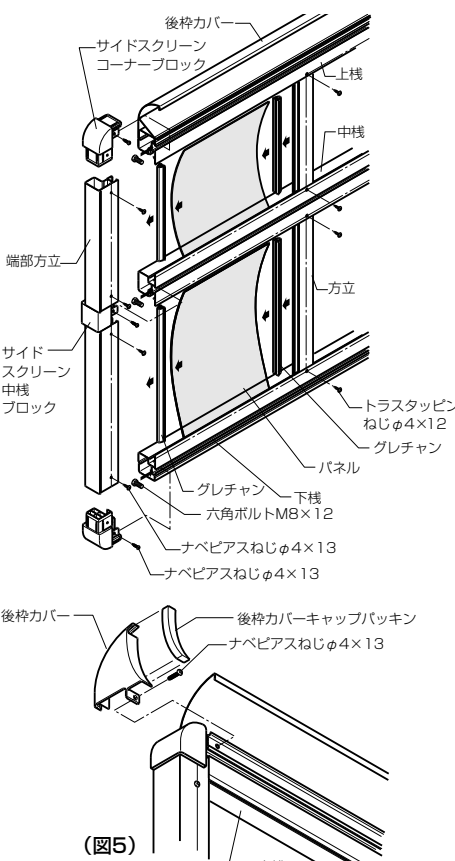


※側面にサイドスクリーンを付ける場合は、ボルトを一本ずつ追加で挿入してください。



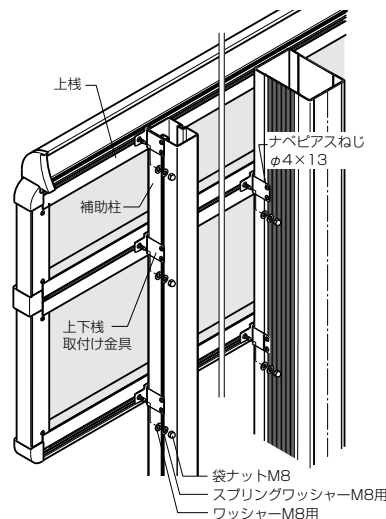
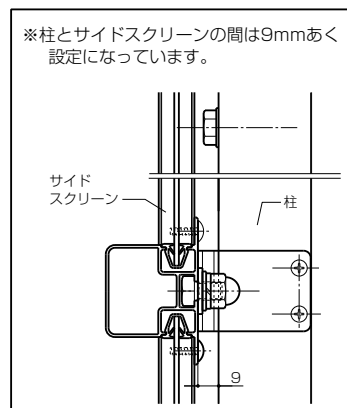
■中棧・下棧・パネル・方立・端部方立の組立て

- ①中棧・下棧に上棧と同数のボルトを差込みます。
- ②端部方立に、コーナーブロック・中棧ブロックを取付けます。
- ③上棧・中棧・下棧に固定し、端部方立にグレチャンを差込みます。
- ④パネルをわん曲させながらはめ込みます。
- ⑤方立にグレチャンを差込み、スライドさせてパネルにはめ込みねじ止めします。
※端部方立を取付けたら、反対側の端部方立を仮止めして施工してください。
- ⑥後枠カバーキャップに後枠カバーキャップバックンを張り付け、後枠カバーにねじ止めします。（図5）



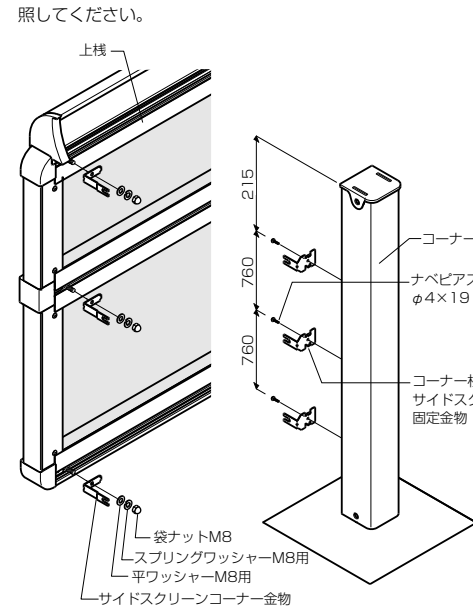
■柱・サイドスクリーン補助柱の取付け

- ①上下棧・中棧に上下棧取付け金具を仮止めし、柱にねじ止めた後、固定します。
- ②サイドスクリーン補助柱に仮止めしてある、上下棧取付け金具の位置を合わせて固定します。



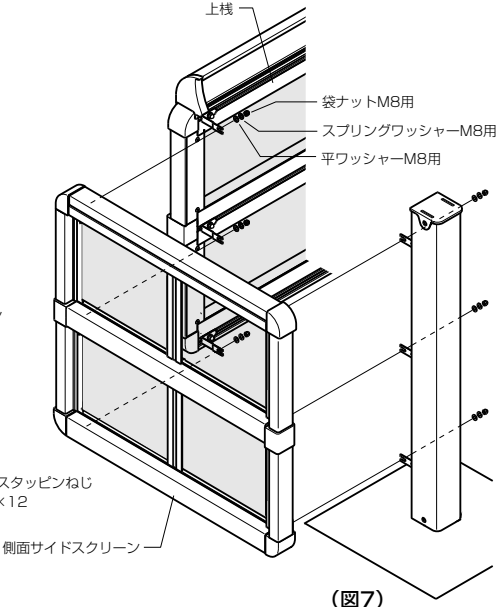
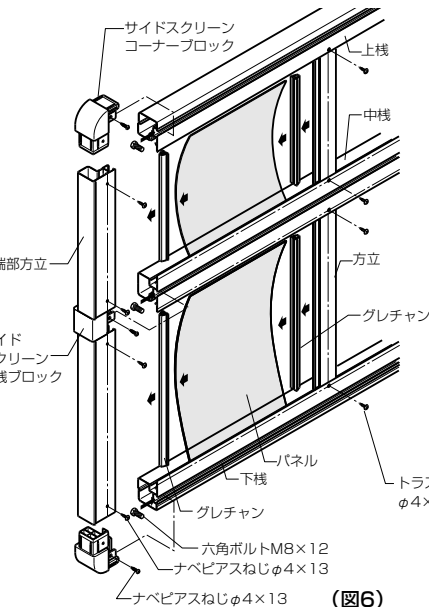
■サイドスクリーンコーナー金物・
コーナー柱サイドスクリーン固定金物の組立て

①背面サイドスクリーンにコーナー金物、コーナー柱に固定金物をそれぞれ取付けます。
※コーナー柱の側枠への取付けは 7 コーナー柱の取付けを参照してください。



■側面サイドスクリーンの組立て

①上機・中機・下機に各2本づつボルトを差込みます。
②側面サイドスクリーンを組立てます。(図6)
③側面サイドスクリーンを背面サイドスクリーン、コーナー柱へ固定します。(図7)



■縦連棟の施工手順

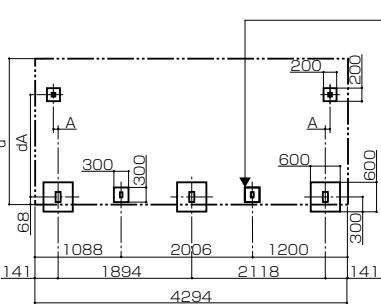
1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
※柱移動は端部柱は内側に95mm、連棟柱は±95mm以内です。
※連棟柱を連棟部の中心に持ってくると、パネル背面サイドスクリーンの施工がしずらくなりますのでご注意ください。
※基礎構造については基本タイプを参照してください。

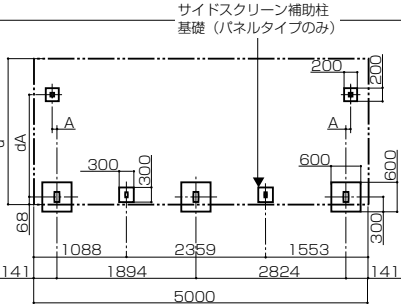
サイズ呼称	d	波板タイプ		波板タイプ	
		dA	A	dA	A
18	1800	1619	87	1251	67
21	2100	1619	87	1251	67

※柱を移動した場合のA寸法はA+移動距離となります。
※図の二点鎖線は屋根の投影図を示す。

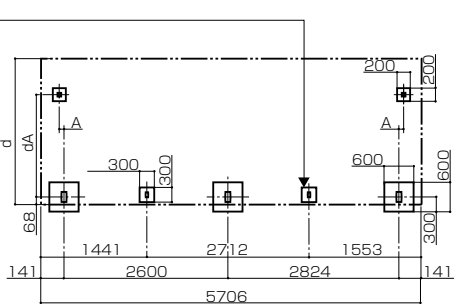
●22サイズ+22サイズ



●22サイズ+29サイズ

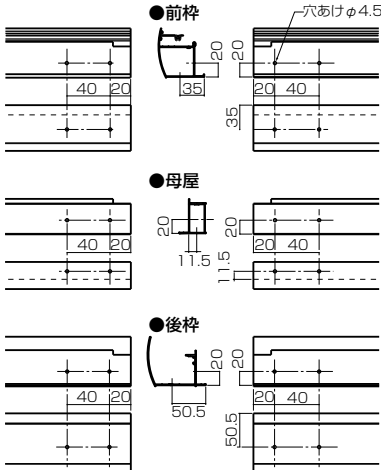
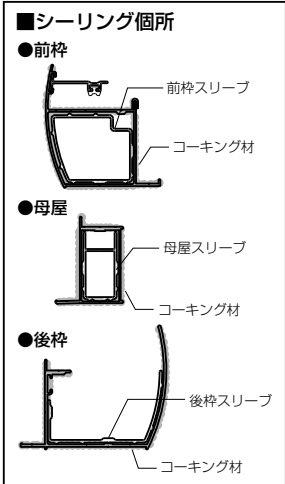


●29サイズ+29サイズ

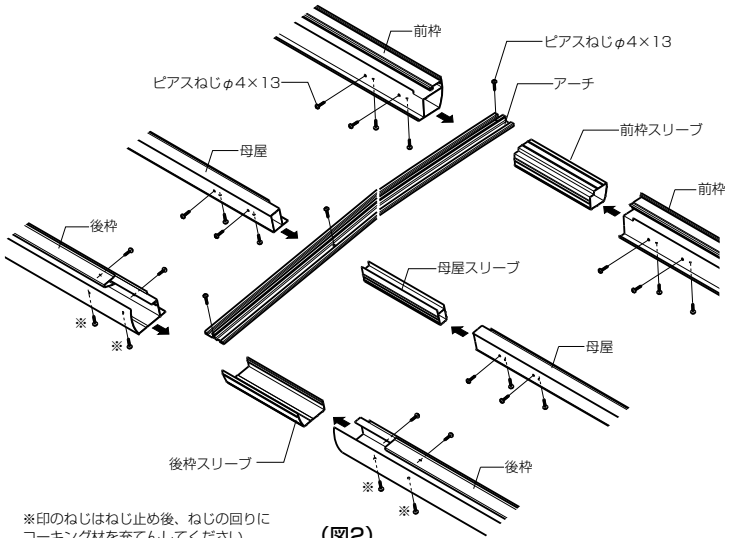


2 本体の組立て

①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。(図1)
②連棟部分を組立てます。(図2)
※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。



(図1)



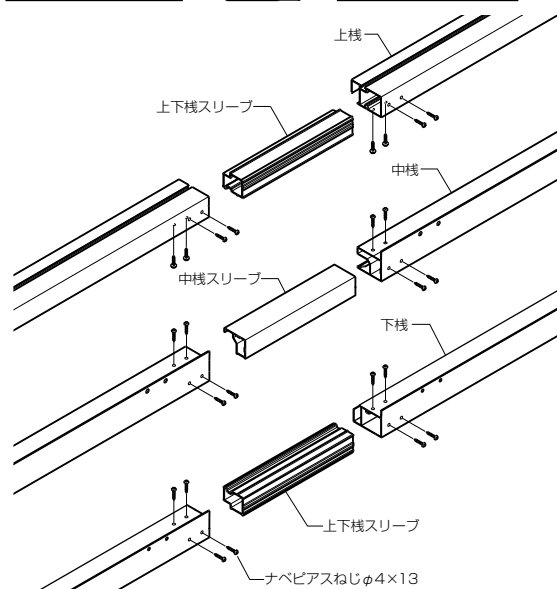
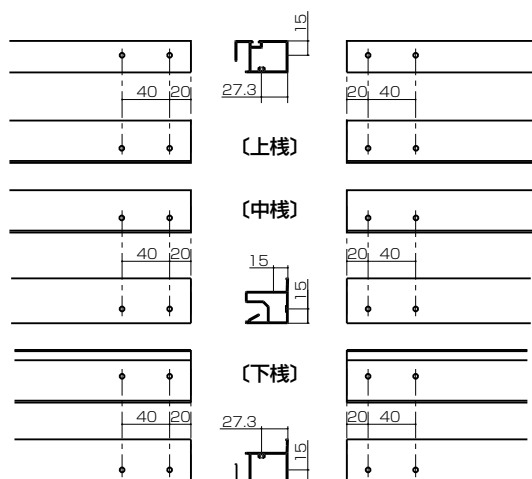
※印のねじはねじ止め後、ねじの回りにコーキング材を充てんしてください。

(図2)

3 波板サイドスクリーン連棟時の組立て

- ①組立て前に上棧・下棧・母屋を、現場加工してください。
- ②連棟部分を組立てます。

※連棟部分以外の組立ては基本タイプを参照してください。

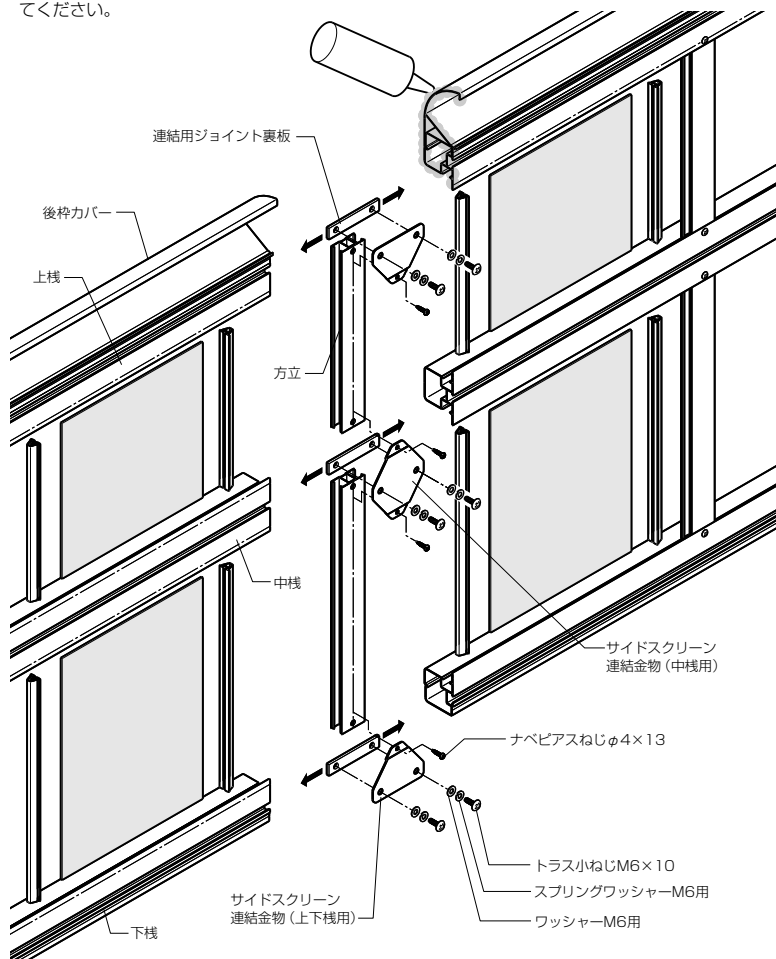


4 パネルサイドスクリーン連棟時の組立て

- ①上下棧・中棧同士を、連棟用ジョイント裏板とサイドスクリーン連結金物で固定します。
- ②サイドスクリーン連結金物の穴と、方立の中心を合わせてねじ止めします。

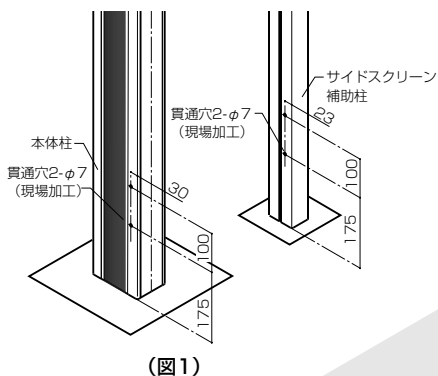
※方立の既存加工穴は使用しません。方立の中心にピアスねじで固定してください。

※後枠カバーと上棧の連棟部に、コーキングを充て込んでください。

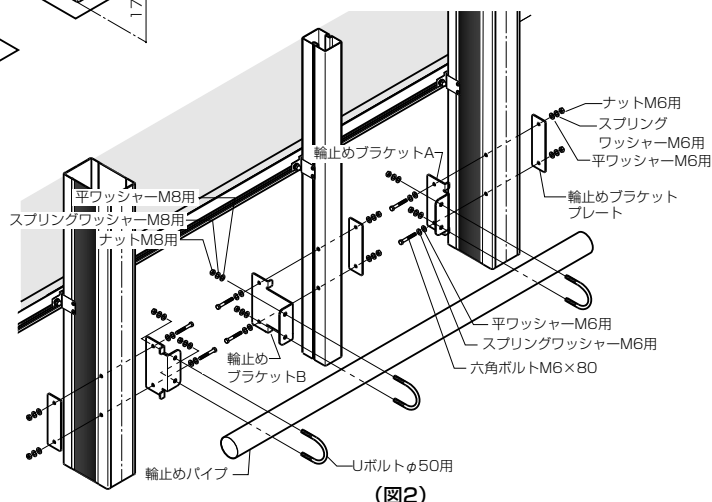


■輪止めの取付け

- ①本体の柱、サイドスクリーン補助柱に穴加工をしてください。(図1)
- ②柱、サイドスクリーン補助柱に輪止めブラケット・輪止めブラケットプレート固定します。(図2)
- ③輪止めブラケットに輪止めパイプを固定します。



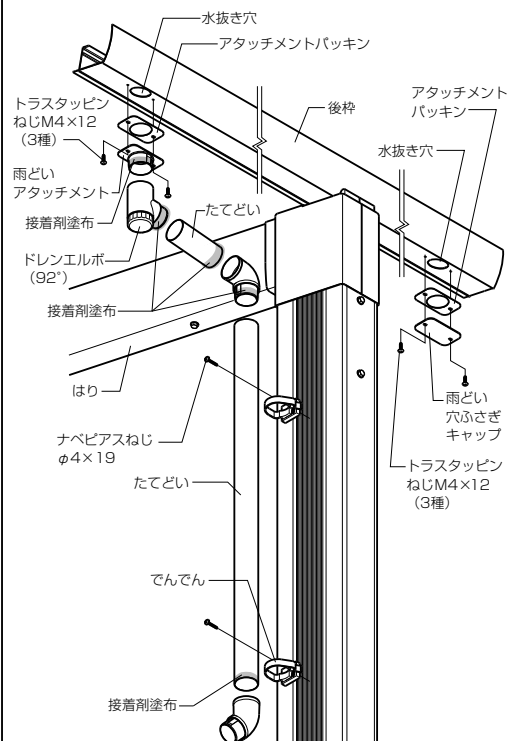
(図1)



(図2)

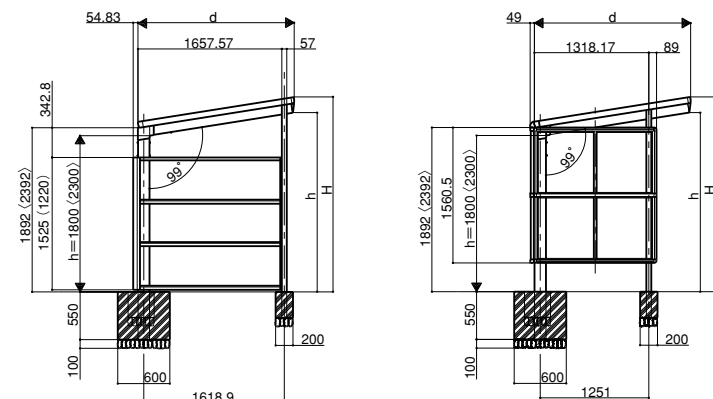
■たてどいセットの取付け

- ①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方にたてどいセットを取付けます。
- ②もう一方の穴に、雨どいアタッチメント (穴ふさぎ) を取付けます。



●基本タイプ

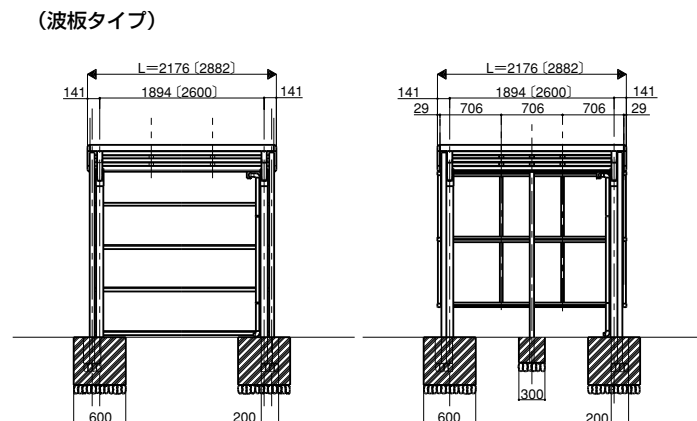
(波板タイプ)



※本図はサイドスクリーンh=15サイズを示す。h=12サイズは()に示す。

サイズ呼称	d	h	H
18	1800	2064.0 <2564.0>	2243.5 <2743.5>
21	2100	2111.6	2291.0

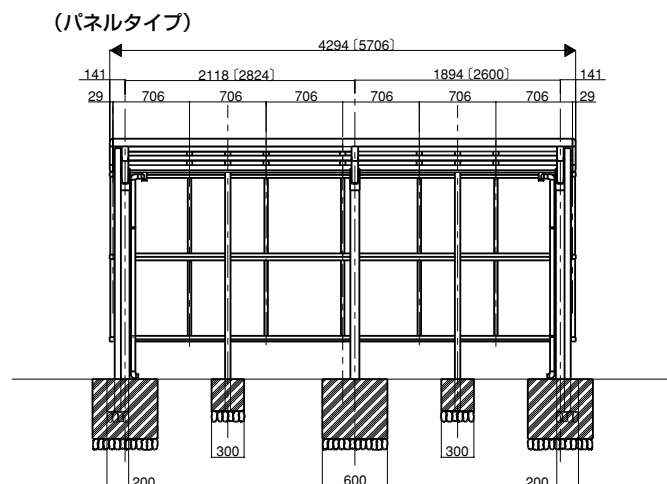
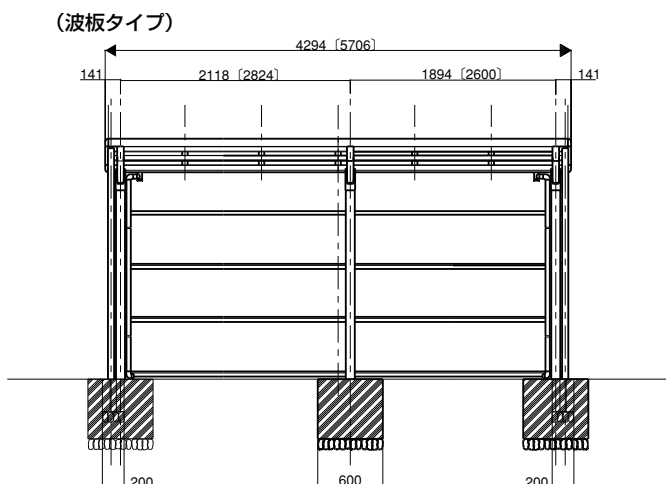
单位mm



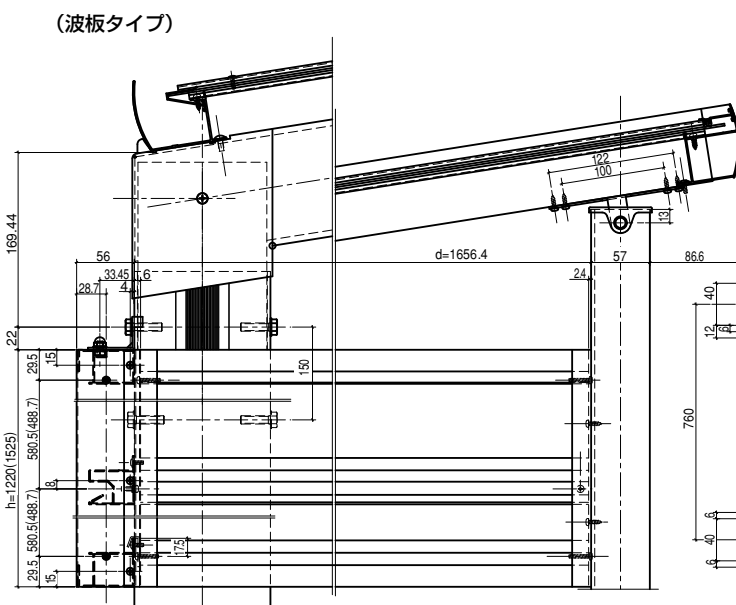
※本図はh=18サイズを示す。ロング柱仕様はくゝに示す。

※本図はL=22サイズを示す。L=29サイズは〔 〕に示す。

●縦連棟

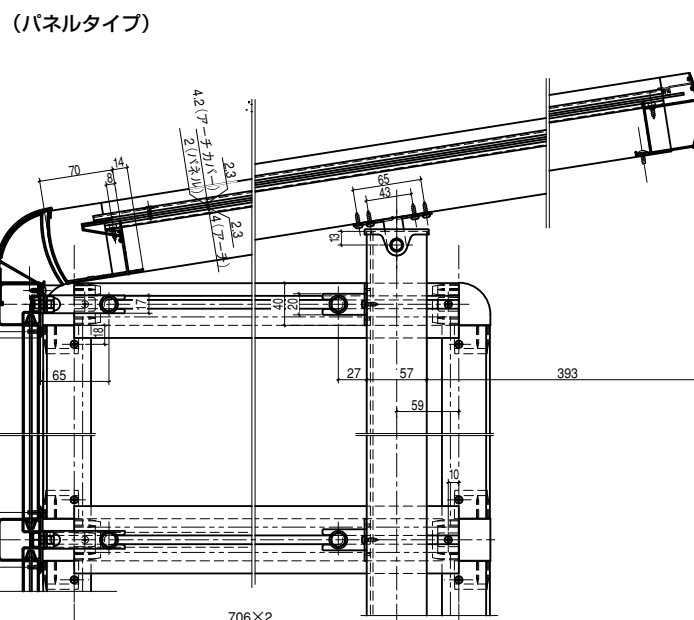


●断面図



※本図はd=18サイズを示す。d=21サイズは()に示す。

※本図はサイドスクリーンh=12サイズを示す。h=15サイズは〔 〕に示す。



※本図はd=18サイズを示す。d=21サイズは()に示す。